二夕日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊（日曜、祭日）休刊

無競爭選擧について
各派代表が協議
四日平町役場に集合

平町會議員間では來る五月十一日執行される家屋稅調査委員の選擧について候補者を定員十五名だけ推して無競爭で行ふ意嚮をもつて昨一日平町會議員各派代表が平町南町萩原義雄宅に集合協議の結果無競爭選擧に贊意を示したので四日午後五時から改めて平町役場に集合候補者の件について協議を遂げる筈であるが、出席する代表者左の如くである。

△公友會佐々木龍若、△民政黨萩原義雄、△一新會花澤兎五六、△中正會鈴木光吉、△同交會馬目雅治。

あす聚樂館で
平青年總會

平町青年會總會は三日午前十時より平町聚樂館に於て開會し、庶務、會計報告、昭和五年豫算役員の改選を行ひ團員の演說に移り左記優良團員を表彰し午後一時より高田中將、櫻井肉彈大佐の講演があり終つて谷口樓に於て懇親會を備す筈である表彰團員左の如し。

片寄正壽、小河原壽雄、鷲谷三郎、根本武雄、鈴木祥友、松本與三郎、中村清吉、遠藤忠治、蛭田千代松、望月幸太郎、橘三郎、佐藤寛二、阿部章、早川次郎、大塚吉造、高崎晴次、水野茂、水野繁。

▲老婆の身投げ

平町鎌田橋下に一日午後一時頃老婆の溺死体あるを通行人が發見平署に届出たので同署で檢視の結果右は平町立町鈴木喜代松の義母神崎よし（七九）で老衰の不自由をかこち投身自殺を遂げたものと判明。

鯉豐漁を豫想し
活氣づく石城七濱
三貫目位の鯉も
豊間大敷網も投入れ

鯉情況に依れば今年は鯉の群が非常に多く見ゐるけれど概して餌付不良、獲れる鯉は稀に三貫目以上の突飛な大鯉が混つて相當粒揃つたものもあるが概して言へば五百匁内外のものが多く斯かる年柄は豐漁だと石城七濱の鯉漁者は大いに期待してゐる尚は遠洋漁船の情報を綜合すると大群は七島近海に游泳中であるから一寸した暴風でもあれば餌になる鰯が沈下して了ひ餌付が良くなるし、潮流の變調も漸次恢復しつゝある天候の變化する毎に殊に時雨後には豊漁だらうと言はれてゐる、又豊間村大敷網は廿八日から投網を開始し廿九日の初漁は鯛二貫目、鰺二十三貫目、いしもち十二貫目で鯛の水上相場は四十五掛で水温十三度前年の初漁より三度高温のため鯛漁は昨年より約十日以上早く豊漁を豫想され石城七濱は俄かに活氣づいた。

從業員の名稱を改む
三井炭礦で

石城郡磐崎村藤原三井炭鑛では二十九日の天長節佳辰を卜して從來採炭、支柱夫、軌道夫、雜夫等の名稱を附してゐた從業員を正式に採炭夫等を「坑内從業員」軌道夫等を坑夫從業員と改稱したが時宜に的した行爲として各方面から賞讃されてゐる。

▲家屋委員選擧告示

平町の家屋稅調査委員は五月十一日午前七時から三時まで平町元中商業學校で行ふ筈で定員十五名である。

炭礦で働らくよりも
農業希望者が增加
各炭礦で勞働者大不足
平紹介所に現はれた現像

常磐各炭礦の鐵道納炭は單價がんでゐる下落したが數量において增加した結果收入の上に幾分增加する譯で、休山に事業縮少に整理が續けられつゝあつた折柄先づホット一安堵の狀態であつたが又ぬものがあらう。

斯る例は一寸想像の及ばぬものがあるが、一面農村と炭界の不況の程度に如何に差があるかを窺ふに足る現象として看過し得

常磐各炭礦の鐵道納炭は單價がんでゐる下落したが數量において增加した結果收入の上に幾分增加する譯で、休山に事業縮少に整理が續けられつゝあつた折柄先づホット一安堵の狀態であつたが又ぬものがあらう。

斯る例は一寸想像の及ばぬものがあるが、一面農村と炭界の不況の程度に如何に差があるかを窺ふに足る現象として看過し得

謹告

今般婚儀内祝の爲め五月六、七日兩日間休業可致候
御華客樣に御不自由を掛け申譯無之候得共何卒御諒察の程奉希上候

三井吳服店
電話（三十八番 七五一番）

鬪犬會
あらゆる妙技を示す

平町同好者主催の第二回鬪犬大會は一日午前十時から平町字大町加藤丈夫氏馬場で擧行、觀衆五百余名に達し先づ若犬の鬪犬稽古あり最後に太刀山（平町城山鈴木）と奥陸錦（平驛前梅津）との鬪犬は時間十二分を費やして無勝負のまゝ引分けとなつた次ぎに泥空（平町仲町熊）ジョン（平町長橋町山形屋）の勝負は時間五分、ジョンが負傷して悲鳴をあげたので中止となり散會。

平郵便局
七日に移轉

平町郵便局廳舍は總工費十八萬余圓の巨費を投じて大通り四丁目角に新築工事を急いで來たが工事は豫定以上に進捗し既に足場を取拂つたので近代建築法による高層なモダンスタイルの新廳舍外廓が出現して四丁目通りに一大美觀を添へてゐるが、鐵筋コンクリート作りの交換局技術員駐在事務所その他廳舍内部の構造設備一切は遲くも六月一杯までに完成の見込であるから七月中にはお引つ越しの運びを見る筈で、斯くて平町の三名物に數へられ平驛、役場局の三古朽聽舍の既に改築された平驛と共に近代の建築美を誇る事となつた。

伊藤村長の名儀で
貧困者に反物を與ふ

石城郡飯野村では財界不況でその日の糊口を凌ぐにも困つてゐる人を調査中であつたが調査も濟んだので二日村長伊藤淺野助氏は村内極貧者七十五名に對し反物一反宛を贈與した。

植田家調委員
候補者顔觸れ

五月十一日に行はれる家屋賃貸價格調査委員選擧に關し植田民政倶樂部では二十九日午前十一時より植田本町藪榮に於て總務委員會を開催し之が對策に就いて協議したが、植田町に於ける有權者數は七百六十名で、定員九名である、當日候補者として内定した左の諸氏中より更に各方部にて詮衡の上絶對過半數を目標に五名乃至六名を擁立して必勝を期する事となつた。

鷲清昇、小川福太郎、坂本龍太郎、太田信昌、小野忠衛、赤津島治、大平喜治、大平春吉、高木一郎、鈴木漁藏、豊田壯松。

常磐銀行に
贋造銀貨

平町字二丁目根本ヒサが一日平町常磐銀行支店に預け入れた金の中に銅に鍍金した五十錢の贋造銀貨があるのを發見平署に届け出でた。

▲運送代金を横領

平町鍛冶町平運輸株式會社雇人深澤勝彌（二一）は昨年三月二十三日までの間に自分の集金した運送代金四百余圓を横領してゐたこと發覺一日平署に檢擧された

▲市原夫人長逝

平町田町市原醫院長市原卯太郎氏令閨鏡子夫人は一日午前三時突然急死した騷ぎに同邸は弔問客で混雜を呈してゐるが、夫人は享年五十九歳葬儀は六日午後二時搔搥小路の自宅出棺大寶寺で執行することゝなつた。

▲諏訪神社祭典

四倉町鎭座諏訪神社の祭典は來る六日執行するが、當日は各町内より花車及假裝行列の催ほし等ある筈で今より人出を豫想せられてゐる。

▲川柳同好會

東京川柳大家佐瀨劍珍坊氏は來る八日午後平潟町に出張を機とし同町靜海亭にて同好者會を開くにがつて題は「舟」「鳩」各五句限り、〆切五月五日限り、投句所平一丁目平吟社綿引氏宛で出席の有無にかゝはらず投稿を望むと。

時報文藝

▲邪窓　麻井虞美

奥深き邪悪の森
暗き一つの窓ありき
あゝ我がうら寂し心の窓邊
光る草葉の雨滴に
かぎりなき悪にふるへり
そは我が昨夜の涙
星と語り一夜をあかし
逝春雨に我が涙を秘めつ
あゝ暗き我が心の窓邊
たゞハラ〳〵とあへぐ白き息
窓邊にかゝり
美しき薔薇の咲きしなり

▲つばめ　わすれな草

つばめとどゞ〳〵春の雨
つばめとぶ〳〵泣きながら
やぶれた戀を忘れよと
つばめとぶ〳〵やけにとぶ
ずいと柳をくぐりぬけ
またすい〳〵とかへし行く
青いつばめよなぜになく
いゝえつばめはなきませぬ
ないてゐるのは春の雨

ハガキ集

（投書歓迎）

海岸線第一の首都平驛前の夜の暗さは何事である、もう少しあかるくしたらどうだね、私も之には殘念したね、いまさに市になん〳〵としてゐるにもかゝわらず驛前の樣では困る、一刻も早あかるくせられん事を望みます（注意生）

▲○丁目の娘さん、あなた近頃月夜の風邪のあてられて一室に閉ごもつてゐるとか、之れで二度目でせう、あなたの樣な感傷的な氣持で尻込思案は却つてあなたの爲めにならないと思ふ、勇敢に突進してはどうです　（やぶ晩生）

▲○○小路あたりに居る老惚婆若返りでもする氣か、年下の燕に盛んモウションを送つてゐるとか、此の間も驛前通りの若者と城山で婿曳してゐたとか年甲斐もなくヒワクチャを毎日白粉をこて〳〵付けて天下の美人と誰が褒めるでせう野天の婿曳は止して下さい。　（隙見雀）

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成候間何卒御利用御用命の程ぢ願申上候

營業種目　燃料　木材
金融　仲立

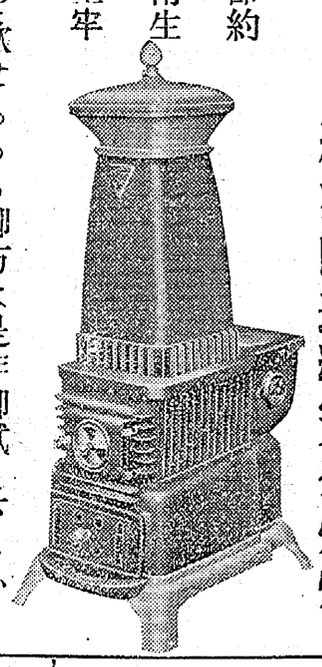
合資會社　高橋商會
代表者　高橋龜松
平町白銀町　電話六三八番

耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
病室完備…自炊の便あり
平町南町　和田醫院
電話一七〇番

支那六神丸
特約店　平町五丁目　山野邊藥局

專門　內科一般
內科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話七二二番）
川井內科診療所
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

暖爐界之征服者
ネンショウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約
火防衛生
優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈
釜屋商店
電話九番・一三九番



御料理
老海勢伊
本場
御献立
ラブスターフライ
ラブスターバリージャン
ラブスターアメリカン
ラブスターテルミドル
其他ソセージ各種
平町田町
井の一
電話一六七番

醬油と味噌
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
崎京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

凡てナンバーワンたる事に努力致しております
コンパル
洋食・喫茶・宴會・仕出し
平町電六六六番

醫院向き貸家
元新妻眼科醫院跡（病室付き）
（平町紺屋町四三番地）
左記に御相談下さい
平町紺屋町（電話六五二番）
玉川屋酒店

春帽！！
皆樣の御氣に召す　モダーンな型　スマートな色合
中折、鳥打、子供帽子
平町四丁目（電話一四〇）
ツルヤ

外科專門
花柳病科
平町六丁目橋際
木村外科病院
電話三〇九番